

1 単元名 表現あそび(まねっこあそび)

2 単元の目標

- ・進んで体を動かし、友達と楽しく活動しようとする。(関心・意欲・態度)
- ・題材の特徴をとらえて動きを工夫したり、友達の良い動きを見つけることができる。
(思考・判断)
- ・題材になりきってのびのびと活動しようとする。(技能)

3 単元について

表現あそびは、表したいイメージや思いを即興的な動きや工夫した動きでなりきって踊ったり、互いのよさを生かし合って仲間と交流して踊ったりすることが楽しいあそびである。勝敗を競うものではないので、誰もが思う存分に楽しめる。しかしながら、思ったことを素直に体で表現することに抵抗がある児童もいるかもしれない。安心してのびのびと表現あそびに取り組むことができれば、児童の心も体の動きも豊かなものになるだろう。

なお、学年が上がるにつれて、表現運動に抵抗を感じる児童が増える傾向にあるのも事実である。第1学年での学習は、小学校体育さらには中学校体育における表現運動のはじめの一步となる。この時期に、表現運動は楽しいものであることをしっかりと味わうことで、その後の成長過程においても、意欲的に表現運動に取り組めるきっかけとしたい。

4 児童について

男子17名、女子15名、計32名の学級である。

素直で元気な児童が多く、休み時間には活発に体を動かして遊んでいる。国語や音楽の時間においては、動作化したり劇あそびをしたりするなかで、のびのびと身体表現を楽しむ様子が見られる。しかし、一つの事柄から自分なりにどんどん思いをふくらませて表現する児童もいれば、恥ずかしそうにしていたり、ふざけてしまってねらいからはずれたりしてしまう児童もいる。これは表現あそびの経験が少ないことが要因の一つかもしれない。

児童らは、これまでの体育の時間では、リズム運動の経験があり、リズムに乗って楽しそうに活動していた。しかし、全員で決まった動きを覚えて行うもので、自分で考えた動きを楽しむものではなかった。イメージや思いを表したり、なりきったりして行う表現あそびの経験は今回が初めてである。

5 指導について

本校の研究主題「思いをふくらませ、学び合い高め合う子どもの育成～連続的な学びの中で～」に迫っていくために次の点について指導の充実を図る。

①表現あそびの楽しさをじっくりと味わうための手立て

心と体を解放して活動の意欲を高めるために、体ほぐしの運動を取り入れる。また、動くことへの戸惑いを軽減するために、イメージしやすく楽しい題材にする。

②かかわり合って学び合う場の設定

題材が単純であるほど、動きの工夫がわかりやすい。一斉指導においては、見合う時間を確保して、良い動きを発見できるようにする。グループ活動においては、楽しみながら一緒に活動することを目的とすることで、互いの良さを認め合うことができるようにしたい。また、グループ活動に入る前に、ヒントカード作りを行い、アイデアを広めるようにする。

6 指導計画（2時間配当）

時	学習内容	ねらい	関	考	表	知	評価規準
1	ミラーワールド 新聞紙のまねっこ	進んで体を動かし，体全体を使って表現することの楽しさを味わうことができる。	◎		○		(関)進んで活動している。 (技)のびのびと活動している。
2 本時	風船のまねっこ グループ発表	特徴をとらえて動きを工夫し，なりきって表現することができる。	○	◎	◎		(考)題材の特徴をとらえることができている。 (表)題材になりきってのびのびと表現している。

7 本時の目標

題材である風船の特徴をとらえて，なりきって表現することができる。

8 準備物

風船 はさみ 付属物のついた風船 音楽CD ラジカセ ヒントカード 掲示用黒板
カラーコーン 動物カード

9 本時の学習過程

学習活動	支援（・）と評価（☆）
<p>○体ほぐしの運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムによって動物のまねっこランニング ・体でジャンケンとミラーリング <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「まねっこあそびをしよう」 ～ふうせんになりきろう～</p> </div> <p>○教師の持っている風船になりきる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風船がふくらむ ・風船が縮む ・風船がとんでいく ・風船がはずむ ・風船が転がる ・風船が割れる <p>○友達の良い動きを伝え合う。</p> <p>○グループごとに付属物のついた風船で遊びながら特徴をとらえてなりきる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細長い風船 ・中にビー玉が入っている風船 ・ヘリウムガスを入れた良く浮かぶ風船 ・風船が2つつながったもの <p>○グループごとに発表をする。</p> <p>○感想を言う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に行った動物の動きの工夫例を確認し，意欲を高める。 ・教師が実演することで，動きを考えにくい子にもとりかかりやすくする。 <ul style="list-style-type: none"> ・テンポ良く行うことで，楽しみながらできるようにする。 ・お互いに見合う時間を作り，互いに認め合えるようにする。 <p>☆題材の特徴をとらえて工夫しているか。 (観察…考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝え合った内容からヒントカードを作り，グループ活動におけるヒントとする。 ・友達の良い動きをどんどん取り入れるようにさせる。 <p>☆題材になりきってのびのびと表現しているか。 (観察…表)</p>

10 授業の観点

題材に風船を用いたことは，児童が動きをイメージしたり，表現運動は楽しいと感じたりする手立てとして，適切だったか。